

国土交通月例経済(平成13年9・10月分)の概況

【公共工事受注(10月)】

～総じて低調に推移。

工事受注額は前年同月比 4.5%減少(2ヶ月連続、4-10月は前年比 5.3%減少)、大手50社受注額は同 23.7%減少(2ヶ月連続、4-10月は前年比 10.1%減少)。

【住宅建設(10月)】

～おおむね横ばい。

新設住宅着工戸数は 101,746 戸(原数値)で、前年同月比 3.3%減少(2ヶ月連続、4-10月は前年比 3.2%減少)。
季節調整済み年率換算値は 114万6千戸で、前月比 3.0%減少。

【民間非住宅建設(10月)】

～基調としては減少傾向。

民間設備投資の先行指標である民間非居住建築着工床面積は、事務所・店舗は増加、工場・倉庫は減少し、全体で前年同月比 5.4%増加(14ヶ月ぶり、4-10月累計は 13.3%減少)。

【貨物交通(9・10月)】

(1) 国内輸送

～トラック、航空、鉄道いずれも減少している。

トラック(特積)は、9月前年同月比 10.9%減少(9ヶ月連続)、トラック(一般)は、9月同 6.8%減少(8ヶ月連続)、宅配貨物は9月同 2.2%減少(4ヶ月連続)、航空(速報:3社)は、10月同 19.6%減少(9ヶ月連続)、鉄道は10月同 1.3%減少(3ヶ月連続)となった。

(2) 国際輸送

～航空が輸出入とも減少している。

外国航空会社を含む航空貨物量(速報:成田・関空調べ)は、輸出 10月前年同月比 26.1%減少(11ヶ月連続)、輸入も10月同 9.2%の減少となった(5ヶ月連続)。なお、我が国航空会社の輸送量(速報:輸出+輸入)は、10月同 8.6%減少(13ヶ月連続)となり、減少傾向の一巡により前年同月比の下げ幅が縮小した(9月同 16.3%減少)。

【旅客交通(9・10月)】

～鉄道は概ね横ばい、航空は米国同時多発テロ事件等の影響により国際が大幅な減少となり、国内も減少。

鉄道は、JR6社が9月前年同月比 0.1%減少(2ヶ月連続)と下げ幅を縮小(8月同 1.7%減少)する一方、民鉄は、9月同 1.3%の増加となった(5ヶ月連続)。

米国同時多発テロ事件等の影響により国際航空(邦社)が10月同 34.3%の大幅な減少(2ヶ月連続)となり、国内航空(速報:18社)も9月同 3.6%増加の後、沖縄線を中心に影響を受け、10月(速報:9社)同 4.8%の減少となった。

【観光(10月)】

~米国同時テロ事件等の影響により海外旅行が大幅に減少、国内旅行も減少。

米国同時多発テロ事件等の影響により、海外旅行は取扱額(主要50社)が10月46.1%の大幅な減少(2ヶ月連続)となった。出国日本人数は10月同39.9%の大幅な減少(2ヶ月連続)となり、入国外国人数も、10月同11.0%の減少(2ヶ月連続)となった。国内旅行は、取扱額(主要50社)が9月同0.3%の増加となった後、テロの影響による沖縄への修学旅行のキャンセル等により、10月同5.9%の減少となった。